

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名称	栃木市都賀地域活動支援センター
	所在地	栃木市都賀町家中2357番地15
	施設内容	障がい者支援施設
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	・地域推進事業 ・介護保険事業 ・障害者総合支援に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用案内掲示			2ヶ所	2ヶ所		
	施設送迎			1日2回	1日2回以上		
	アンケート利用者満足度			80%	90%		
	意見反映数			1件	1件		
	苦情申し出への対応件数			0件	0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に関する案内看板を正面玄関に設置し、初めての方でも利用しやすい雰囲気づくりに努めました。 ・法令を厳守し、常に施設利用の利便性、平等性に努めました。 ・利用者が安全に通所できるよう、1日2回の送迎を実施しました。また、利用者や家族の都合に合わせて来所できるように対応いたしました。 ・年1回のアンケートを実施し回収率100%、満足度90.4%を得られました。アンケートの結果「玄関の戸が重い」と1件意見があった為、こまめに掃除し潤滑剤で対策を行い、更に都賀地域の業者に無償で修理の協力をして頂き早急に対応いたしました。 ・利用者からの電話相談は丁寧に傾聴し、保護者の希望により面談・面接を随時行っています。また当センターではご利用相談窓口を設置しております。 						
施設所管課コメント	<p>アンケートなど利用者や家族からの意見やニーズを把握し、事業に反映できていることは評価できる。</p> <p>また、利用者の送迎は計画値と実績値は同じ数値になっているが、そもそも、事業所の努力によるもので、通所のしやすさや家族の負担の軽減に繋がっていることは評価したい。</p> <p>満足度が昨年度を上回っていることから、全体としてより良いサービスの提供ができていると推察できる。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	開所日数		243日		243日		
	合同訓練事業数		2回		2回		
	広報誌連載		4回以上		5回		
	イベント参加数		2回以上		2回		
	施設外クリーン活動		2回		2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・年間243日予定通り開所することが出来ました。 ・利用者の増加に向けた広報活動として本会の広報誌（ふくぴーだより）の掲載や都賀地区民生委員福祉部の方、福祉団体ボランティアの方々に施設紹介を実施いたしました。 ・就労継続支援センターいちごの郷との合同事業（自立訓練・野外訓練）を実施いたしました。また、利用者が楽しみにしている全ての季節行事（お楽しみ会）を実施いたしました。 ・イベントでは身障スポーツレクリエーション大会に参加し、身体障害者福祉会都賀支部やサマーボランティアスクールに参加している小学生との交流を図りました。また、都賀地区民生委員福祉部主催のそば打ち体験に参加いたしました。 ・就労継続支援センターいちごの郷との合同で、年2回施設近隣のクリーン活動を実施いたしました。 						
施設所管課コメント	<p>コロナ5類移行直後においても年間行事を計画通りに実施していることは評価できる。コロナ5類移行直後においてもイベント参加や合同訓練が計画通り実施できたことは評価できる。</p> <p>広報紙への掲載は計画値より多く行われており、地域に密着した活動をとおして障がい者への理解を深める啓発に寄与するものとして評価したい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素		指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標		指標名		計画値	実績値		
		本代等の経費削減		図書館利用	図書館利用		
		見積り合わせ実績数		3件	3件		
		施設内クリーン活動		2回	3回		
		施設修繕数		1件	3件		
		グリーンカーテン作り		2ヶ所	2ヶ所		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・受託金は会計基準に基づき本会予算に計上し、適切に処理しました。また事業終了にあたっては監査を経て理事会・評議員会で承認されました。 ・本代等の経費削減の為、図書館を利用いたしました。 ・物品等の購入は無駄を省き、必要最低限に努めるなどサービス低下に繋がらない範囲内で経費削減に心がけました。 ・本会の経理規程に基づき保守点検等の3つの業務について複数の業者から見積りを徴し比較し、経費削減に努めました。 ・清掃は可能な限り職員が対応し、年3回利用者と一緒に施設内クリーン活動を行いました。 ・再生紙使用やミスコピーの再利用による省資源化、窓際にグリーンカーテンを作り、節電に心がけました。 ・修繕は、中古品の再利用業者の無償での修繕、職員による軽微な修理対応をするなどし経費削減に努めました。 						
施設所管課コメント	<p>物品購入を必要最低限に抑えることや適正な見積合わせによる経費削減の取組みは評価できる。</p> <p>サービス低下につながらない範囲での経費削減は職員同士の日頃からの意識づけによるものであり評価できる。</p> <p>業者の無償での修繕においては、地域住民の理解あってこそその対応であり日頃の交流や理解促進が図られていることがうかがえ評価できる。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	管理運営			管理者 1 名	管理者 1 名	
	職員配置			指導員 2 名	指導員 2 名	
	研修会参加			3 回以上	5 回	
	各種税金や社会保険納付			期限内	期限内	
評価	配点	第 1 次評価 (指定管理者評価)			第 2 次評価 (施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会関係部署と連携を図りながら体制を整えて管理運営しました。 ・ また管理者 1 名、常勤指導員 2 名、計 3 名の介護職経験者を配置をいたしました。(常勤指導者 2 名、介護福祉士、介護職員初任者研修) ・ 毎日のミーティングの他、各種研修会に積極的に参加し、資質向上に努めました。(栃木県社協主催「社会福祉施設新任職員研修会」社協本所主催「虐待予防」他) ・ インフルエンザ予防接種費用の助成を行いました。 ・ 源泉所得税や消費税、社会保険料は適切に納付しました。 					
施設所管課コメント	<p>職員の人員配置は適正に対応している。</p> <p>職員研修は計画値を大幅に上回る参加をしており、障がい者を支援するうえで必要なスキルを習得する努力をしていることは評価できる。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	自主検査実地点検			243日	243日	
	消防用設備点検			年2回	年2回	
	事故発生件数			0件	0件	
	避難・水害訓練			避難(年2回)水害(年2回)	避難(年2回)水害(年2回)	
	個人情報の保護・守秘義務の徹底			職員会議 毎回	職員会議 毎回	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策の為に戸締りや火の元などの自主点検を毎日行い、防火管理者に提出しています。 ・台風や地震等においては、施設内や施設外を見回り安全点検を行いました。 ・勤務時間以外の職員不在時は警備業者に委託して警備システムによる警備を行い、緊急時には緊急連絡先に連絡が入る体制になっています。 また、保護者の同意を得て緊急連絡先の情報を記載した名簿を作成し緊急時に備えています。 ・防火管理マニュアルに基づき、地震・火災時に利用者の安全を確保する為、総合避難訓練を年に2回実施し利用者全員が消火器の使い方を学びました。また同じく2回は水害に備えた水害時対応訓練を合わせて行いました。なお、西方消防署による立入検査において、指摘事項はありませんでした。 ・個人情報保護に関しては利用者情報の守秘義務の徹底に努め、書類に関しては警備保障の入った事務室内鍵つきロッカー等に保管しています。 					
施設所管課コメント	<p>毎日の自主点検や、災害に備えた総合避難訓練の実施・緊急連絡網の作成など適正に利用者の安全確保がなされていることから事故発生件数が0件となっている。 水害訓練については台風時などに適切な避難が必要となることから、計画的に実施している また、個人情報の取扱いや守秘義務の徹底もされている。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	20.0
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	12	12	12.4
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	12.4
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	15.7
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	12	15.1
評価点合計	100	76	72	75.6
総合評価		B (良)	B (良)	B (良)

第3次評価（選定委員会評価）

選定委員会コメント

- ・施設の閉鎖に伴う利用者の他施設への移行について、利用者の経済的負担、精神的負担を軽減できるよう配慮してもらいたい
- ・利用者一人一人に寄り添った対応をしている
- ・電話相談や面談などを適切に行っている
- ・アンケートの結果に対し迅速な対応をしていることが評価できる
- ・利用者が少ない
- ・地域密着の取組みは評価できる
- ・十分な人員配置がなされず、正職員が欠員している

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
資産総額	1,906,373,129	1,983,652,461	1,965,766,261
売上高	873,947,307	825,285,169	807,520,501
経常利益	△ 43,364,759	△ 82,602,966	△ 78,435,421
当期利益	△ 44,559,175	39,099,727	△ 78,285,914
経常収支比率	95.3%	90.9%	91.2%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
経常費用	919,267,844	910,352,088	888,350,143
経常収益	875,903,085	827,749,122	809,914,722
経常収支比率	95.30%	90.90%	91.20%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和4年度末日における本会全体の財務状況は、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益が減少しましたが、人件費や事業費を抑えることができたため、前年度より赤字幅を少なくすることができました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、引き続きコスト削減と収入源の確保に取組み安定した経営基盤づくりを目指します。